

あけまして おめでとうございます

神埼市長 松本茂幸



市民の皆さまには、ご家族おそろいで
希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

さて、一昨年、昨年と世界中が新型コ
ロナウイルス感染症禍に不安と対応に追
われた年であったと思います。これまで
人々は、幾多の感染症の発生とそれに対する終息を願っての努力がな
されてきたものです。本市出身の伊東玄朴が臨んだ種痘も、まさに同
じものだと思えます。

神埼市のコロナ対応については、地元医師会の先生方のご理解とご
尽力をはじめ、市民の皆さまのご理解とご協力によって、非常にスムー
ズに事を運ぶことができました。ここに感謝とお礼を申し上げます。

現に、昨年希望される市民の皆さまに対するワクチン接種は、高齢
者65歳以上の第1回目を5月24日から始め、12月10日現在で、対象者
の95%の方が2回目の接種を終えることができました。

また、12歳以上64歳未満の方のワクチン接種は、7月16日から始ま

り、12月10日現在での2回目の接種率は、対象者の78・5%となつて
います。

さらに、年齢制限が5歳以上までと引き下げられ、そのワクチン接
種におきましても、国において現在検討がなされています。

皆さんが、ワクチンを2回接種することで、これで大丈夫だと思っ
間もないうちに、南アフリカで発生した新型コロナウイルスの新しい
変異株「オミクロン株」の恐怖が世界中を再び不安に陥れています。
県内では、感染者ゼロの日が続き、安堵して一息入れたいところなの
に、国の水際対策をすり抜け国内への新たな感染が伝えられ、第6波
の襲来が危惧される年頭であります。このことから、第3回目のワク
チン接種に向けた準備を進めておりますので、スムーズな接種ができ
ますように引き続きご協力をお願いします。

一方、昨年の年頭の挨拶でも述べましたが、二酸化炭素を起因とし
た地球温暖化現象による気象変化はますますクローズアップされてい
ます。

昨年8月11日から19日に及んだ大雨は、神埼町三谷地区の土砂災害

による住家等6戸の全半壊、また土砂崩落による道路遮断は14カ所、山林災害関係では、林道災害69カ所、山林崩壊35カ所、また洪水による南部地域の床上浸水6戸、床下浸水49戸、氾濫による道路通行不能は104カ所および農地被害は135カ所、農業施設被害は66カ所と農地の洪水氾濫地域は広範囲にわたりました。

被災者および被災地域の復旧復興は1日も早く急がされる場所があります。市としては、災害発生以後、すぐに被害状況把握のための確認調査、災害物の撤去など現場対応にあたり職員も時を惜しみなく従事してくれています。しかし、被災した当事者の方々の思いを推し量るとき、市の至らぬことに対し苛立ちを覚えられていると思います。行政のトップとして市民の方々の思いとともに職員のストレスにも思い量りながら、災害対応の大変さを学んだ昨年でありました。今年は大雨がなければと念願するところでありました。

さて、今年、第2次神埼市総合計画の実現に向けた第5代市長の市政運営時期を迎えることとなります。幸せつなごうかんざき〜みんなので支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して〜この実現に向けた取り組みが求められ、期待を寄せられています。

この手段として、三本の矢をもって取り組んできましたが、今年も引き続き取り組んでまいりたいと思います。第1は「安全安心」の矢、第2は「健康の増進と健康寿命の延伸」の矢、および第3は「地域の活性化」の矢であります。それぞれの内容は紙面の都合上、割愛させていただきます。

では、特に今年のまちづくりを考える時、優先的・積極的に取り組むべきことは、

1. 新型コロナワクチン接種対応とコロナ感染禍における持続化社会への取り組み
2. 気候変動による災害の予防、防災、減災対策への取り組み
3. 公有地の有効活用および北部丘陵土砂採取跡地の利活用への取り組み
4. 観光・交流拠点として、土地の有効活用を進めるための駅北開発への取り組み
5. 子育て・教育環境整備と観光拠点整備への取り組み他

以上、5項目を掲げましたが、その他多くの事業に取り組まなければなりません。ただし、今日では、何事にも市民の皆さまが参加する「取り組みたいこと」「取り組んでほしいこと」といった事業を市民と市が一緒になって取り組む市民協働での取り組みをお願いしたいものです。「市がすべきだ」「市がしてくれる」といった行政任せのまちづくりではなく、「官民協働」のまちづくりが求められています。市民の皆さまとともに「よかったねー」と言い合える、笑顔あふれるまちを創っていきましょう。

今年一年が神埼市のますますの発展、市民の皆さまの招福、ご健勝とご多幸を祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦

新年のご挨拶



神崎市議会
議長 中野 均

新年あけましておめでとうござい
ます。市民の皆さまにおかれましては、
希望に満ちた新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

輝かしい令和4年の年頭に当た
り、神崎市議会を代表しまして新年
のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、市議会に対し深いご理
解とご支援をいただき、お陰をもち
まして議会活動に専念し、地域の振
興をはじめ、市政の向上・充実など
の公務に議会として精励することが
できましたことを、心より感謝申し
上げます。

さて、昨年は8月の大雨による災
害により、農地・農作物に甚大な被
害が発生し、また、神崎町三谷地区で
土石流が発生しました。被害に遭わ
れました皆さまには、心よりお見舞
いを申し上げますとともに、近年の自
然災害に対し、改めて防災意識につ
いて、痛感したところでございます。
新型コロナウイルス感染症につき
ましては、現在は小康状態を維持し
ているものの、昨年8月には佐賀県

でも1日180人を超える陽性者が
確認されており、市民の皆さま
におかれましては、手洗い、マスク
の着用、3密を避けるなど、日常生
活においては不安視され、経済活動
にも大きな影響を与えていることと
拝察いたします。一日も早い終息を
願うものであります。

ワクチン接種につきましては、短
期間に多くの市民の皆さまに接種を
受けていただくことができました。

接種事業にご尽力いただきました
た、市内医療従事者および関係者の
皆さまに、心から感謝申し上げます
とともに、これから3回目の接種も予
定されていますので、今後ご協力
をお願いいたします。

また、昨年は神崎市議会報告会を
開催し、多くの市民の皆さまと意見
交換をすることができました。拝聴
しました意見等については、再度議
会の中で確認を行うとともに、今後
の議会運営に生かしてまいります。
議会としましては、多くの市民の
皆さまの声を市政に届け、反映させ
ることが議会の使命だと考えており
ます。

本年4月の議員改選から議員定数
が18人となりますが、これまで以上
に市民の皆さまの意見や要望等を
聞きながら、市民目線に立った、
開かれた議会づくりに取り組んでま
いりたいと考えております。
最後になりますが、本年もより一
層のご支援、ご協力をお願いしま
すとともに、市民の皆さまのご健勝
、ご多幸を心より祈念いたしまして、
年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



神崎市教育委員会
委員長 太次 利明

新年あけましておめでとうござい
ます。市民の皆さまには、輝かしい令和4年の
新春を健やかに迎えのこととお慶び申
上げます。また、皆さまには、日頃から本
市の教育行政に深いご理解とご支援を賜
り、心からお礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威
を振るい、厳しい一年になりました。令和
4年は新型コロナウイルス感染症が収束
し、明るく笑顔に満ちた年になるよう
願っています。

学校教育では、令和3年も新型コロナウ
イルス感染症のために学校行事の中止や縮
小、延期等、例年通りの教育活動ができ
ませんでした。しかし、そうした中でも、しつ
かりとした感染対策を行い、少しずつ学校
行事等の教育活動ができるようになってき
ました。これからも、児童・生徒が充実し
た学校生活が送れるように、保護者・地域
の皆さまのご協力をいただきながら教育活
動に取り組んでいきます。

神崎市教育委員会といたしましても、新
しい時代に向けて、次の4点を重点目標と
して掲げ、これからも取り組んでいきます。
一【確かな学力】
新しい時代に生きる児童・生徒に必要な

資質・能力を伸ばす教育を推進する。

二【ふるさと・命・思いやり】
自他を大切にし、ふるさと『神崎』を愛
し、心豊かでたくましい児童・生徒を育む
教育を推進する。

三【地域連携・資質向上】
学校と地域の連携を強化し、地域の信頼
に応える学校づくりを推進する。

四【学びの環境】
学びを支える教育環境の整備と充実を推
進する。

これからも、昨年度配備しました一人一
台のタブレットを活用した教育や英語教
育、国際交流教育等の『流行』と神崎・ふ
るさと学習や神崎市四か条の誓い、読書指
導等の『不易』を大切にし、『知育・徳育・
体育』の調和の取れた人間性豊かな児童・
生徒の育成を目指していきます。

また、社会教育においても、取り組むべ
き課題があります。

今年も、市民の皆さまに『生涯にわたる
学習意欲を刺激する事業の推進や、市民の
皆さまが楽しく触れ合える生活の場の提
供』を行いたいと思います。

そのために、中央公民館や千代田公民館、
脊振公民館、また、市立図書館や分館等を
積極的に活用していただけるような環境作
りに努めます。さらに、各種行事等を充実
させ、各社会教育施設がさらに多くの市民
の皆さまに愛されるようにしていきたいと
思います。

教育委員会は、「子どもたちの未来のた
めに」「市民の皆さまの生涯学習のために」
本市教育の充実・発展に全力で取り組んで
まいります。

皆さまの今年一年のご多幸を心より祈念
いたしまして、ご挨拶と致します。

今年の抱負

総務企画部

本年は「第2次神崎市総合計画」の前期計画5年目となり、引き続き市全体の均衡ある発展のための施策を総合的に展開するとともに、令和5年度から令和9年度までの後期計画の策定に着手することから、市民の皆さまのご意見等を拝聴しながら引き続き市の発展と活性化に繋がるまちづくりを進めます。

人口減少対策では、若者や新婚世帯、子育て世代および三世帯同居を対象とした定住促進を図り、人口減少の抑制に努めます。また、地域が行う自主的なまちづくりの活動に対する支援など、本市が地域の個性を生かした魅力あるまちとなるよう、取り組みを進めます。

防災面では、最近、頻発する自然災害から市民の生命、財産を守るため、防災訓練、防災に関する普及啓発などによる防災意識の向上を図るとともに、避難所運営など適切な対策を講じながら、災害に強いまちづくりを進めます。また、消防・水防体制の充実強化や交通安全の広報・啓発を実施し、市民の皆さまの安全・安心の確保に努めます。ふるさと納税では、適宜、インターネットで受付できるサイトの拡充や返礼品の充実に努めながら、今後も制度の趣旨に沿った運営を行い、財源の確保

と地域資源の活用、関係人口や交流人口が増加する取り組みを推進します。また、産・学・官連携による新たな地域ブランドの創造を目指します。

財政面では、有事においても市民サービスの低下を招くことが無いよう、財源を重点的・効果的に活用するとともに、市税などの自主財源の安定的な確保を図るため、引き続き、適正・公正な賦課・徴収に取り組み、健全な財政運営に努めます。

選挙では、本年は、神崎市長神崎市議会議員選挙、参議院議員通常選挙、佐賀県知事選挙の年です。選挙啓発事業を通じて、市民の皆さまの関心を高め、投票率の向上を図るとともに、選挙が明るく公正に行われるよう努めます。

市民福祉部

一昨年から昨年にかけて、市民の皆さまの暮らしや活動に影響を及ぼした新型コロナウイルス対策では、ワクチンの接種を希望される方へ3回目接種を実施します。2回目接種後8か月経過の時期に接種券を郵送し接種の案内を行います。

感染対策は全庁連携のもと、引き続き適切な感染予防の情報周知に努めてまいります。

総合窓口は市民の皆さまに最も近い窓口として、正確で迅速な対応に努めます。マイナンバーカードの普及を推進し、普

及率の向上とともに利便性の向上を図ります。

健康増進については、子育て世代包括支援センターにおいて、庁内連携のもと妊娠準備期からの切れ目のない支援を行います。また健康維持の基本である健康診断・食育・運動を推進し、市民の健康寿命の延伸に努めます。

国保は、引き続き健全かつ確実に事業を推進します。

環境面では、ごみ収集方法の改定を計画しており各地区において説明会を開催します。引き続き、一般廃棄物処理、火葬など適切な環境衛生の推進に努めてまいります。

地域福祉については「地域共生社会」の実現を目指して、福祉のまちづくりを推進してまいります。

高齢者が住み慣れた地域で、健やかに安心して生活できるように、健康づくりと介護予防の推進、認知症ケア体制の充実に努めます。認知症に対する正しい知識の普及と啓発を行い、地域の見守りを強化していきます。障がいのある無に関わらず、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでまいります。

また、就学前教育・保育、子育て世帯への支援サービス、子育て支援センターの充実を図り、未来を担う子どもたちの成長を支えていきます。

コロナ禍の中、さまざまな生活不安を抱える人が気軽に相談できる体制を整え、今後も包括的支援の実施に努めます。

地域で誰もが安心して暮らすことができるよう、地域の交流、ふれあいの促進を図りながら、地域福祉施策の充実に努めてまいります。

産業建設部

農政水産部門では、農業・農村が有する国土・自然環境の保全、水源の涵養、良好な景観の形成など、多面的な機能が發揮されるよう農地、農道、農業用水路や防災重点ため池の整備を行い農業経営の安定を図るとともに、新規就農者の支援・確保に努め農業振興を推進します。

また、近年の豪雨災害に対応するため大雨が予測される場合、農業用基幹水路の事前排水および田んぼダムの取り組みを強化し洪水調整機能の確保に努め被害の軽減に努めます。

林業部門では、神崎市森林整備計画に基づき、5か年計画である森林経営計画において、植林、下刈、枝打ち、間伐、作業道の整備に取り組み水源涵養や土砂災害防止など多面的機能の持続可能な森林づくりを推進します。

商工観光部門では、地域おこし協力隊による、市のイメージアップにつながるSNSを活用した情報発信と王仁博士顕彰公

園を拠点とした観光・交流に積極的に取り組みます。

また、地域の活性化のため定住促進を目指し、商工業の発展と企業誘致の積極的な取り組みを図ります。

建設部門では、都市基盤である道路・河川・公園などの機能維持のため計画的に事業を実施します。また、神崎市を南北に縦断するアクセス道路(防災道路)の整備を引き続き進めます。また、老朽化している公営住宅(本掘団地)の建て替え工事を着工します。

城原川ダムについては、近年の気候変動の影響を踏まえたダム事業をさらに推進するとともに、ダム周辺地域の振興に向けた検討を進めます。

また、内水氾濫が頻発する中対策として、流域治水推進事業に取り組み浸水被害の要因の分析を踏まえて内水氾濫対策に取り組みます。

下水道部門では、公共下水道および浄化槽の整備を行い快適な生活環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

市民福祉の向上のため、職員一丸となって前進していきます。市民の皆さまの温かいご理解、ご協力をお願いいたします。

命をつなぐ献血に協力

11月7日



神崎市消防団南部隊が献血の協力を行いました。

南部隊では昭和40年頃から千代田町消防団の活動として団員献血に取り組んでおり、今回は新型コロナウイルス感染対策で参加人数を制限した中で、41人の団員が献血に参加しました。

今回の献血が命を救う一役になることを願います。

倉谷地区のかかし村 東京五輪モチーフも登場

10月23日～11月14日



脊振町倉谷地区に今年もかかし村が出現しました。倉谷地区かかし作り同志会と脊振を愛する会が連携して行い、6回目となります。

江戸時代の火消しを模した「コロナ消し隊」など31体が並びました。

東京五輪をモチーフにしたかかしもお目見え。熱戦を繰り広げる様子が再現され、来場者は足を止めて見入っていました。

名物ガイドの梅崎哲夫さん(脊振町岩政倉今)は「マスク着用ではありますが脊振の美味しい空気を吸って、愛嬌のあるかかしを見て笑って元気になってほしい」と話していました。

読書推進運動に貢献

11月8日



野間読書推進賞に家読姉地区の世話役をされている吉井久子さん(千代田町姉)が受賞されました。

この賞は講談社社長・故野間省一氏の寄付金をもとに運営され、長年読書推進運動に貢献された個人および団体に贈られています。

昭和46年の開始から数えると、県内では個人・団体合わせて7組目、市では3組目の受賞者となります。おめでとうございます。

アルミ缶回収活動評価 優秀賞受賞

10月26日



神崎市消費者グループ協議会(松尾千恵子会長)が、アルミ缶リサイクル協会の主催するアルミ缶一般回収協力者表彰の優秀賞を受賞されました。

神崎市消費者グループでは年2回アルミ缶の回収事業を通じて、消費者問題や環境問題の啓発を行ってまいります。



Facebook アカウント名:くねんニャン
<https://www.facebook.com/kankoukanzaki/>



Instagram アカウント名:くねんニャン[公式]
<https://www.instagram.com/kunennyan0501/>



太極拳で健康促進

11月26日



金丸千壽子さん(神埼町石井ヶ里)が代表を務める神埼市太極拳サークルは、張琪先生ちようきの指導のもと月に3回ほど中央公民館などで活動をしています。今回は初めての試みとして吉野ヶ里歴史公園の秋空の下、のびのびと行いました。

太極拳は、動きがとても緩やかで高齢者でも無理のない優しい運動が行え、心身ともに健康になれるところが魅力です。

今後は「太極拳を通じて、健康な体作りと交流の輪を広げていくことを目標に活動を続けていきたい」と抱負を述べました。

認知症の理解へ一役! キッズサポーター養成講座

11月8日、11日、12日



神埼清明高校生活福祉系列の2年生と認知症地域支援推進員が講師となり、神埼小学校の4年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。

紙芝居や寸劇を交えた講座を展開。小学生は、認知症の人への声のかけ方や対応の仕方を、楽しく学びました。

今回の講座で、98人のキッズサポーターが誕生しました。地域での温かい見守りとやさしい声かけに期待します。

認知症を学び支える市民の集い

12月5日



今年で7回目を迎える「認知症を学び支える市民の集い」をはんぎーホールで開催しました。

今回は、映画「女優 原田ヒサ子」の上映と同映画を撮影した原田美枝子さん(女優)のトークショー(録画)の上映と、荒巻圭子さん(健康運動指導士)によるストレッチ講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、上映方式での開催となりましたが約200人が参加し、認知症について学び、楽しく集う機会となりました。

色とりどり 伝統の菊花展 出展の木塚さんに市長賞

11月9日~12日



神埼市中央公民館で第52回菊花展(神埼市老人クラブ連合会神埼支部主催)が行われ、色とりどりの菊が、来場者の目を楽しませました。

50年を超える伝統ある菊花展。今回も出展者により大切に育てられた菊の花が、会場を色鮮やかに飾りました。

菊づくりに対する特に深い情熱と努力をたたえ、木塚重治さん(神埼町姉川上分)に、市長賞を贈りました。

書初め大会・今年の一文字(漢字)は何だろう

1月10日(月・祝) 10時から12時において、神埼町竹原にある「王仁博士顕彰公園」内の多目的交流館で、神埼市主催の「令和4年第3回新春書初め大会」が開催されます。



昨年の書初め大会の様子

これは、王仁博士顕彰公園の建設開園を記念して始めたものです。昨年は100人を超す参加・来場者があり、人それぞれ思いの一文字を力強く毛筆で書きあげてくれました。

活性化が図れたら、駅北開発計画の策定、子育て・教育環境の整備、などなど、叶えられるならば良いのと思うのです。そこで「叶」にしようかと思っています。

昨年は、うまく書けたと満足な表情の人、チョットなーと言った表情の人、親に褒められて嬉しそうなお子どもたちの姿も多く見ることができました。一年の抱負、希望を書いてもらおう一文字。昨年の希望や抱負は実現できたのでしょうか。さて皆さんは、今年、どんな文字を書いてくれるのでしょうか？当日が楽しみです。

さて、毎年暮れの恒例行事となっている、2021年の世相

私も、昨年は「豊」を、一昨年は「幸」の一文字を書かせてもらいました。今年は、色々思うことがあって、コロナの収束を、大雨の災害がないように、城原川ダム建設計画の飛躍的促進、健康寿命が少しでも伸ばせたら、まちの



神埼高校書道部による書道パフォーマンス

をよろしく願います。話を変わりますが、会場の王仁博士顕彰公園は、地元の竹原地区有志10人(代表者・松本正晴氏)によって日曜日に焼き芋「王仁芋」が販売されています。販売時間は、10時頃から、当日の準備された芋がなくなり次第終了とのこと。非常に人気があり、遠方からお越しになるお客さんもおられ、地元有志の方は大変感謝しているとのこと。



王仁芋と販売風景

ちなみに、芋の種類としては3種類(安納芋、紅はるか、シルクスイート)、単価は600円/kg、販売期間は10月上旬から芋の在庫期間とされています。昨年は1月で完売だったとのことで、今年は若干多くの収穫(約3t)を図ったことから3月頃までは販売したいとの希望を語られています。

1月10日は、多くの皆さんが新春書初め大会に参加され「王仁芋」を食べていただきたいと思えます。よろしくお願います。食後の感想を聞かせていただければ幸いです。

新春書初め大会が盛会裏に終了することを祈念して、1月号の市長の部屋とします。

(12月15日記)

神埼市長 松本 茂幸

市長交際費の公表 (令和3年11月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	3	9,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	0	0
計	3	9,000

夜の市長室

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください!

○今後の予定

とき	ところ
1月4日(火)	脊振交流センター
2月1日(火)	神埼市役所

18:00 ~ 20:00 (1組30分程度)
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

12月の千代田交流センター開催分は、4組5人でした。
※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。
※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。